

舞台は生身の役者と観客とで出来るもの。そんな一度きりの“ご縁”でつくりあげられる機会をここ佐伯で。

記念すべき第1回は、日本を代表する名優、柄本明さんに登場いただきます！

この機会をお見逃しなく！

2021年 9月 19日 (日)

(開場 13:30)  
開演 14:00

さいき城山桜ホール 大ホール

講演を頼まれた（はずの）  
ニューヒンおじさん



柄本明ひとり芝居

# 煙草の 害について

構成・演出・出演 柄本明

原作 アントン・チェーホフ



なんだか滑稽なお芝居  
※裏面申な講演会ではございますが

笑いにお越し  
どうぞお聞きください。

くたびれた燕尾服を着た初老の男が  
「煙草の害について」と題された講演を始めたが、  
話はおかしな方向へ転がって…。

ロシアの偉大なる劇作家の作品に大胆なアレンジを  
加えた舞台は好評を博し、再演を重ねてきました。  
まさに柄本明ならではの作品をお楽しみください！

みんな来てね！

発売日

販売方法

問合せ

2021年 6月 27日 (日) 9:00 ~

\*各日販売時間 [窓口] 9:00-21:00 ※休館日は除く

窓口・インターネット (ライブポケット)

<https://t.livepocket.jp/e/saiki210919>

\* 購入後のチケット変更・キャンセル、及び営利目的のチケットの転売はできません。

\* 公演中止の場合を除き、チケット料金の払い戻しは致しません。

さいき城山桜ホール (〒876-0831 大分県佐伯市大手町2丁目2番28号)

TEL 0972-24-2228 FAX 0972-24-2229 MAIL ootemae@city.saiki.lg.jp

主催 さいき城山桜ホール運営委員会 / 協力 劇団東京乾電池

ライブポケット QR



全席指定

一般 ¥3,000

高校生以下 ¥1,000

ペアチケット ¥5,000

\* ペアチケットの取扱は窓口のみ

\* 新型コロナウイルス感染拡大防止

ため席間隔を空けて受付





柄本 明 Akira Emoto

1976年綾田俊樹、ベンガルと共に劇団東京乾電池を結成。座長を務める。

1998年今村昌平監督の「カンゾー先生」にて第22回日本アカデミー賞を受賞。以降、さまざま受賞。映画のみならず舞台やテレビドラマにも多数出演し2011年には紫綬褒章を受章。2015年には第41回放送基金賞番組部門「演技賞」を受賞。2019年（令和元年）旭日小綬章を受賞。

<最近の主な映画>

2010年「ゴールデンスランバー」「孤高のメス」「悪人」「桜田門外の変」  
2011年「アノトキノイノチ」「一枚のハガキ」「神様のカルテ」「忍たま乱太郎」  
2012年「グスゴーブドリの伝記」「妖怪人間ベム」「逆転裁判」  
2013年「きいろいゾウ」「戦争と一人の女」「利休にたずねよ」「飛べ！ダコタ」  
2014年「神様のカルテ2」「オー！ファーザー」「幕末高校生」  
2015年「正しく生きる」「愛を積む人」「天空の蜂」「恋するヴァンパイア」  
2016年「モヒカン故郷に帰る」「後妻業の女」「人生の約束」「シン・ゴジラ」  
2017年「サバイバルファミリー」「いぬむこいり」「夜明け告げるルーのうた」  
2018年「悪と仮面のルール」

<最近の主な舞台>

2010年「おくりびと」／2011年「ペテン・ザ・ペテン」／2012年「ハムレット」／  
2013年「夏の夜の夢」「煙草の害について」／2014年「生きると生きないのあいだ」／  
2015年「とりあえず、お父さん」／2016年「ただの自転車屋」／2017年「マリウス」／  
2018年「プルートゥ」「誰もいない国」／2020年「てにあまる」

<最近の主なテレビ>

2012年NHK「開拓者たち」、WOWOW「プラチナタウン」、TBS「運命の人」「スナーク狩り」  
2013年TBS「とんび」「愛しき100年の友に」、BS-TBS「俺たち絶体絶命！」  
2014年NHK「足尾から来た女」「ロンググッドバイ」、TBS「眠りの森」「同窓生」  
2015年TX「永遠の0」、「釣りバカ日誌」TBS「新・猪狩文助」、NHKBS「玉音放送を作った男たち」、  
CX「剣客商売 陽炎の男」、NHKBS「京都人の密かな愉しみ 夏」  
2016年CX「美しき三つの嘘」、NHKBS「宮崎のふたり」  
2017年NHK「精霊の守り人 悲しき破壊神」、BSプレミアム「雲霧仁左衛門」、NTV「フランケンシュタインの恋」、  
TX「下北沢ダイハード」「孤独のグルメ」、BSジャパン「プリズンホテル」  
2018年NHK「西郷どん」／2020年CX「絶対零度」、TBS「半沢直樹2」／  
2021年EX「遺留捜査」「相棒 season19」

## 劇団東京乾電池 <http://www.tokyo-kandenchi.com/>



1976年柄本明、ベンガル、綾田俊樹の3人で結成する。その後、高田純次、岩松了、角替和枝が入団する。

即興芝居で毒のある笑いが当時の若者たちの間で人気となり、佐藤B作の東京ヴォードヴィルショーやとともに人気劇団となる。その後、路線を変更。

1986年から1990年にかけて、岩松了の作品「町内劇シリーズ」「お父さんシリーズ」として計6本上演。岩松了は5作目にあたる「蒲団と達磨」で第33回岸田國士戯曲賞を受賞。その後、劇団を退団。

1991年から1995年の4年間は、チエーホフの4大劇を柄本明の演出により上演。

1996年には川島雄三監督の「しとやかな獣」を舞台で上演して話題を呼んだ。

2001年劇団創立25周年にはシェイクスピア「夏の夜の夢」を柄本明の演出、劇団員総出演で上演。

2005年4月には小津安二郎監督の「長屋紳士録」を舞台化、上演した。

2006年創立30周年は「劇団東京乾電池祭り」と題し、開催期間の4月19日～4月30日の間、下北沢ザ・スズナリで1日5演目「小さな家と五人の紳士 眠れ 巴里 授業 夏の夜の夢 長屋紳士録」を上演した。

2016年6月には創立40周年記念公演として、下北沢本多劇場にて北村想書下ろしの「ただの自転車屋」を上演。

創立メンバーである柄本明、ベンガル、綾田俊樹が久々に共演、話題となった。

新型コロナウイルス  
感染拡大防止のため、  
右の項目にご理解と  
ご協力を願いします

- \* ご来場者のお名前と連絡先の提出をお願いします。万が一感染が疑われる方がいた場合、  
いただいた情報は保健所等の公的期間に提出しますので、予めご了承ください。
- \* マスクの着用をお願いします。マスク着用のない方は入場をお断りいたします。
- \* 咳、咽頭痛、発熱の恐れがある方はご来場をお控えください。  
(37.5°C以上の熱のある方は入場をお断りいたします。)

